

「環境に配慮し、なおかつ経費を抑えることができる」

事業者の仲間になりませんか？

港区ごみ減量優良事業者等表彰の審査項目は、次のとおりです。

- (1) 収集運搬経費がミックスペーパーを含めて単価契約（kg 単価 × 発生量）である。
- (2) 紙ごみ減量のため、ミックスペーパーのリサイクルを行っている。
- (3) 分別表示が見やすく、分かりやすい。
- (4) 社員・テナントの分別意識が高く、手元分別の仕組みができている。
- (5) 実量測定等により排出量を把握し、適正管理に努めている。
- (6) その他独自の優れた取組

★ごみの減量やリサイクルの推進に向けて積極的な取組を行っている事業者様におかれましては、是非、【港区ごみ減量優良事業者等に関する訪問調査申請書】のご提出をお願いいたします！港区職員が訪問調査に伺います。

これまでの受賞者一覧

年 度	規 模	建築物名称	年 度	規 模	建築物名称
H26	5,000㎡以上	伊藤忠商事株式会社東京本社ビル	H29	5,000㎡以上	品川シーズンテラス
		ホンダ青山ビル			三菱東京 UFJ 銀行芝ビル
		三菱 UFJ 信託銀行港南ビル			ヤクルト本社ビル
	1,000㎡以上5,000㎡未満	大和ライフネクスト株式会社本社ビル		1,000㎡以上5,000㎡未満	虎ノ門 A ビル
H27	5,000㎡以上	NBF プラチナタワー	H30	5,000㎡以上	東亜合成ビル
		JR 品川イーストビル			共栄火災新橋本社ビル
		新日鉄興和不動産本社ビル			東京都立青山特別支援学校校舎棟
		虎ノ門2丁目タワー	R 元	5,000㎡以上	NTT ドコモ品川ビル
	1,000㎡以上5,000㎡未満	中野ビル			学校法人頌栄女子学院
H28	5,000㎡以上	SME 乃木坂ビル	R2	5,000㎡以上	汐留メディアタワー
		東京都立芝商業高等学校			明産西新橋ビル
		日立ハイテクビルディング			

受賞者の皆様の取組については、港区公式ホームページをご覧ください！
以下の場所を取組内容をまとめたリーフレットが掲載されています。

ホーム > 暮らし・手続き > ごみ・リサイクル > 事業者の方 > 事業用大規模建築物
(延床面積1,000平方メートル以上)の所有者及び事業者の皆さんへ

令和3年度

港区ごみ減量優良事業者等表彰 受賞者の紹介

受 賞 者

- あかさか
● 赤坂インターシティ AIR
- サントリーホール
- ていこく ほんしゃ
● 帝国データバンク本社ビル
- とうきょう
● 東京ガスビルディング

(五十音順)



港区
リユースキャラクター
リユース助



港区
リサイクルキャラクター
エコル

港区は、事業所が集積する都心区という地域特性から、区内から排出されるごみの大部分を「事業系ごみ」が占めるという特徴があります。

「事業系ごみ」の減量を着実に進めるためには、事業者による“ごみの発生抑制”“リサイクル（資源化）への取組”が必要不可欠となっています。

そのため「事業系ごみ」の減量とリサイクルの一層の推進を図るために、平成21(2009)年度に「港区ごみ減量優良事業者等表彰制度」を創設し、模範的な取組により、高いリサイクル率を達成するなどの顕著な実績をあげている事業者等を表彰しています。

これまでの受賞者の模範的で優れた取組事例を、区のホームページなどで広く紹介しています。これらの取組を事業者によるごみの減量・資源の再利用の自主的な取組の促進に向けた一助としてお役立てください。



受賞者	赤坂インターシティAIR
建物所在地	赤坂1-8-1
延床面積	176,904㎡



表彰理由

月例会合同会議でのテナントごとのABC3段階による分別状況評価、食品リサイクルの導入など、分別意識の向上に向けた各種取組を推進しており、廃棄物の再利用率が約98%と極めて高い。こうした廃棄物の分別の徹底やリサイクルへの啓発活動を積極的に行っていることが高く評価された。

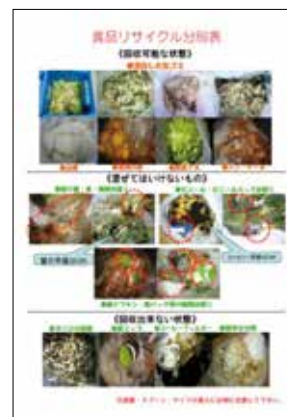


AIRオフィス用・商業用リサイクルガイドをテナント入居時に配布説明

オフィス共用部(給湯室)例



「その他リサイクルする紙」回収BOXには黄色ビニール袋を使用し意識啓発



廃棄物センター(保管庫)内【商業店舗用掲示物例】

受賞者の声

赤坂インターシティAIR(以下「当ビル」といいます)は、平成29(2017)年9月に竣工した地上38階建て、延床面積約18万㎡のオフィス・商業・医療施設・コンファレンス等からなる大規模複合ビルです。在館人員は約1万人、また敷地内に0.5haの緑地や水辺の空間を配していることが特徴です。

当ビルにおける3Rの取り組みを下記に紹介します。

1. 廃棄物処理方法として、(1)雑紙リサイクル方式採用(オフィスから排出されるもえるごみの中に混じっている紙ごみを、当ビル地下2階廃棄物管理センターで分別し、分別しきれないビニール、夾雑物を廃棄物処理工場にて光学式選別機等で再分別)、(2)食品リサイクルの実施(生ごみを廃棄物処分業者にて電気・ガスへリサイクル)、(3)一般廃棄物のサーマルリサイクル実施(マテリアルリサイクルできない一般廃棄物を民間処理施設でサーマルリサイクル)していることです。
2. 施設内運用面の実施項目として、(1)廃棄物分別の周知・徹底(①当ビルオフィス用・商業用リサイクルガイドをテナント様入居時に配布説明、②廃棄物容器に分別サインを作成し貼付、③分別品目「その他リサイクルする紙(紙製包装紙・菓子箱・封筒・はがき等表紙)」として、他の品目と異なる黄色ごみ袋にして分別チェックをより効果的に実施)、(2)テナント様へ計量データを提供し、廃棄物削減やリデュースの意識付けを実施、(3)当ビル地下2階の廃棄物センター(保管庫)に常駐作業スタッフを配置し、テナント別計量・分別状況チェック・分別改善指導を実施、(4)ごみ減量と分別に向けた啓発活動(ビル関係者の月例会議・日常定例会議等で改善事項等を共有のうえ、テナント様や商業店舗に展開し是正を図る)、があげられます。

SDGsをはじめ環境問題への意識の高まりと共に、テナント様のごみ減量・分別・リサイクルへの取り組みや関心度がますます強くなってきています。ビル管理者としてそれに応えられるよう努めている中で、当ビルでのごみの減量・リサイクル実践活動を評価いただきましたことをたいへん光栄に存じます。今次受賞を励みに引き続きテナント様とビル関係者で協働し更なるごみ減量とリサイクル活動に取り組んで参ります。



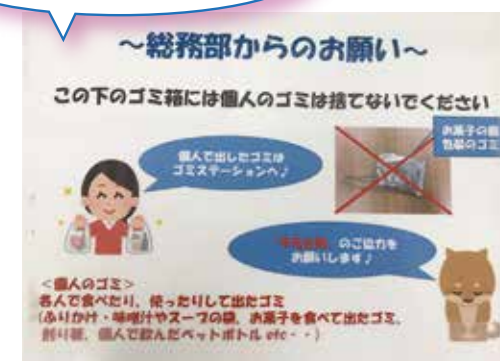
受賞者	サントリーホール
建物所在地	赤坂1-13-1
延床面積	12,516㎡



表彰理由

施設利用者から排出されるごみの増加等への対策として、ごみ箱の撤去によるごみの持ち帰りの徹底やチラシ回収ボックスの設置など、ごみの削減に工夫を凝らし、こうした独自の知恵による取組が評価された。

手元分別の取り組みの徹底



細かく分けられた品目ごとの専用ボックス

受賞者の声

サントリーホールは、昭和61(1986)年10月に竣工した地上3階、地下2階建ての建物です。

館内には、クラシックコンサート専用の大ホール(2,006席)と、『ブルーローズ』という名称の小ホール(最大席数432席)があります。昨今は、コロナ禍で多くの公演が中止を余儀なくされましたが、平常時には2つのホールをあわせて年間約600公演、60万人ものお客様をお迎えしています。また、館内には、公演運営やビル管理に関わる協力会社を含め、総勢100名以上が常時勤務しています。このような館内におきましては、日々のごみ排出量も多く、長年にわたり、排出ごみの管理に尽力してまいりました。

まず、『ごみの排出量を減らすこと』を目的とし、貸ホールとしてご利用される公演主催者様に事業ごみの持ち帰りやお弁当の容器回収について、ご理解いただき、ご協力いただいています。不要となったプログラム等は終演後にお持ち帰りいただき、お弁当手配の際は容器回収まで留意いただいています。また、館内各所のごみ箱は、各々の設置箇所に応じた適切な容量・形状を選択し、不適切なごみが投棄されない環境を整備しました。これらの取り組みにより、館のご利用者様に適切なごみの排出を意識していただけるようになりました。

次に、『ごみのリサイクル率を上げること』を目的として、館内のスタッフにごみの分別の必要性について理解を促し、意識の醸成を図っています。館内に19個のボックスから構成されるごみ・ステーションを配置し、各ボックスに分類を表記し、誰もが分別に苦慮しないように具体的な事例を掲示しています。スタッフには手元用ごみ箱を配付し、自分の排出ごみは自分でごみ・ステーションへ持ち込み、分別することを徹底しています。私たちが、排出ごみを分別することにより、リサイクルが可能となり、資源として活用することが可能になることについて、充分な理解を得られ、一人ひとりが責任をもって取り組んでいます。

この度の表彰は、館内スタッフ全員の日々のごみ削減に取り組んでいただけたことと理解し、一同、大変嬉しく思っています。この表彰を励みに、今後も引き続きごみの排出量の減量化やリサイクル率の向上に取り組んでまいります。

帝国データバンク 本社ビル

受 賞 者	帝国データバンク本社ビル
建 物 所 在 地	南青山2-5-20
延 床 面 積	13,345㎡



表彰理由

イラストを用いた独自のわかりやすい分別表示のほか、廃棄物処理単価のごみ分別ボックスへの記載によるコスト意識の啓発、計量器を用いたごみ量の正確な把握など、ビル全体としての工夫を取り入れた取組が評価された。



家庭ごみと事業ごみの分別の違いを
イラストを用いて表示



衛生面に配慮したごみ集積場

受賞者の声

帝国データバンク本社ビルは、平成12(2000)年3月に竣工した地上10階、地下3階建てのビルで、地下1階にごみ集積場を有しています。グループ会社を含め約600名が在籍しております。

廃棄物処理については、ごみ分別用のBOXを各フロアに設置し、従業員は各自のごみ箱から分別処理して指定の場所に廃棄しています。ごみの分別にあたっては、居住している自治体により家庭ごみと事業ごみでは出し方が違うため、その違いを強く認識してもらうよう文字だけの貼紙からイラスト付きの貼紙に変更し、より目に付くように工夫しました。当社は企業信用情報を取り扱っていますので、紙類の廃棄はとりわけ慎重に対応しています。

特に対策を強化しているのは紙類の廃棄です。各フロアには、シュレッダーのほか、完全監視体制で処分プロセスを監視する「機密書類」、一般書類や新聞・雑誌を廃棄する「溶解」BOXを設け、それぞれ処理単価を明記することで、コスト意識による紙の削減が定着してきています。加えて、付箋などのミックスペーパーを溶解BOXに入れるよう貼紙を変更したことでリサイクル率も改善しています。また、ペットボトルキャップはごみではなくリサイクル原料として専門業者に回収を依頼し、ワクチンに代わる寄付として社会貢献をおこなっています。このほか、清掃スタッフと連携し、分別が不十分な場合は、回収時に清掃スタッフが手作業で分別し、明らかに分別に不備がある場合は回収せず、詳細に把握して当該フロアのマネジャーに口頭で指導しています。

ごみ集積場については、清掃の衛生面に配慮しています。フロアを巡回する清掃スタッフのタオルや手袋は一度使用したら洗濯し、清潔な状態で使用しています。回収袋も漏れなどがないように古紙を敷くなどしており、フロアからごみ集積場まで常に清潔さを保つことで従業員の分別への意識を維持する効果につながっています。

このたび、これらの廃棄物処理に関する当社の取り組みを評価していただき、「港区ごみ減量優良事業者等表彰」を受賞できたことは大変光栄です。この受賞を励みとして、今後も更なるごみ減量、リサイクル率向上を目指して取り組んでまいります。

東京ガス ビルディング

受 賞 者	東京ガスビルディング
建 物 所 在 地	海岸1-5-20
延 床 面 積	78,326㎡



表彰理由

事務室内へのごみ分別ルールの掲示のほか、分別に迷った場合に入れる専用の容器を設置し、適切に分別につなげていること、また、廃棄物の排出量についても部署ごとに適正把握に努めるなど、ごみの削減に向けた各種取組が評価された。

分別4段ボックス



紙類分別用の4段ボックス

廃棄物管理システム計量器



部門ごとに正確に計量

TGごみ分別ルール



視覚的にも分かりやすい分別表

受賞者の声

JR浜松町駅から徒歩5分、旧芝離宮恩賜庭園の隣に立つ東京ガスビルディングは、昭和59(1984)年2月に竣工した地上27階、地下2階建て、延べ床面積約78,400㎡のオフィスビルとして、約3,800名の東京ガスグループ社員が勤務しております。

弊社の環境方針の中に「廃棄物等の発生抑制・再使用・再資源化とグリーン購入を積極的に推進し、環境負荷を総合的に低減させる」とあります通り、当ビルでもごみの減量及びリサイクル率の向上を目指し、長年に渡り取り組んで参りました。

具体的には、当ビル独自のごみ分別ルールを作り、ごみ分別の種類をA～Qの17種類に細かく分けました。分別する際に社員の皆さんが迷わず、正確に分別していただくために、視覚的に分かりやすい分別表を作成し、各階のごみ箱前に掲示して、リサイクル率の向上に努めております。

次に塵芥室内に廃棄物管理システムを導入し、ごみの廃棄実績を正確に管理できる計量器を設置しました。ビル内から回収されたごみは社内の各部門・ごみの品目ごとに計量し、各部門の計量実績は社内HPIに掲載され、毎月更新、社員が実績の現状を確認し、ごみ削減に対して意識を持ってもらえるよう取り組んでおります。

以上の取り組みは、ビルの管理会社および清掃スタッフ、ごみを収集運搬される方々の皆さまと共に協力しあいながら進めており、ビル管理会社との月例会では、廃棄量やリサイクル率、マニフェスト管理の進捗を確認するだけでなく、何気ない情報でも共有し、現状に問題点があれば即、相談をいただき改善をして参りました。

今回は当ビルの取り組みが評価され、ごみ減量優良事業者に選ばれましたことは、誠に光栄であり、これを励みに東京ガスグループとして、更なるごみ減量化および資源化に取り組んで参ります。